

ポイント

平成29年度版行財政3か年実施計画 及び 平成29年度予算編成における基本方針[上尾市]

- 現在、我が国ではアベノミクスによる経済再生政策が進められているが、本格的な経済再生には至っていない。また、人口減少問題への対応など多くの困難な課題を抱えており、これら国家的な課題は、地方自治体の行財政運営に大きな影響を及ぼしている。
- 本市では“スピード感”を都市経営の根幹に据え、市民サービスの向上、市民の安心・安全を確保すべく各種施策を積極的に展開してきたところである。
- 今後はさらに厳しい行財政運営を余儀なくされる中、少子高齢化や人口減少などに的確に対応しつつ、選ばれる都市として成長しなければならない。
- そのためには、行政改革等を不断に実行し、マニフェストを実現することが不可欠であり、これらの取組みが、20年、30年先の輝かしい上尾市の礎になると確信している。
- 全職員は「未来を見据えて、今を動く^{あす}」ことを念頭に置き、最大限の努力を傾注する必要がある。
- 基本方針には、「マニフェストの具現化に向けた取組方針」などを盛り込んだところであり、各部局は、本基本方針に基づき、平成29年度3か年・予算編成に臨むこととする。

平成28年9月1日 市長通知

I. 現下の経済情勢と国の動向及び本市の財政状況と今後の見通し

1. 現下の経済情勢と国の動向【P 1】

- ・景気は緩やかな回復基調が続いているが、海外景気の下振れなど、我が国の景気が下押しされるリスクがある
- ・平成29年度予算の概算要求に当たっては、無駄を徹底して排除しつつ、予算の中身を大胆に重点化するなど、国は厳しく望む姿勢

2. 本市の財政状況と今後の見通し【P 1】

- ・平成27年度の一般会計決算は、歳入面では、地方消費税交付金などが増加となったものの市税は減少。歳出面では、扶助費が大幅に増加したことにより、義務的経費が過去最大の336.6億円となったところ
- ・財政の健全度を示す実質公債費比率が前年度と同じ4.0%、将来負担比率が29.4%となり対前年度比5.5ポイント改善
- ・財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、対前年度比で0.5ポイント悪化し94.6%と極めて高い数値
- ・平成28～32年度の財政収支の見通しでは、財源不足額は平均33.3億円程度と見込まれ拡大傾向

Ⅱ. 平成29年度3か年・予算編成の基本的な考え方

- ・行政改革等を不断に実行し、持続可能な財政基盤を確立するとともに、真に必要な事業を見極める必要がある
- ・ゼロベースで事業を見直し、無駄を排除するとともに、優先的に取り組むべき事業への積極的な予算配分により、メリハリの効いた予算とする
- ・「上尾市財政規律ガイドライン」を遵守の上、以下の5つの取組方針に沿って予算編成に臨む

1. 5つの取組方針【P2】

(1) マニフェストの具現化に向けた取組方針

- ・マニフェストの各項目をスピーディに実行することにより、さらなる行政サービスの向上を図る取組み

(2) 第8次行政改革実施計画の確実な実施に向けた取組方針

- ・質の高い行政サービスの提供と持続性のある財政基盤の確立に向け、果敢に改革を推進する取組み

(3) 行政評価に基づく事務事業の取組方針

- ・事業を効率的かつ効果的に実施すべく、事務事業評価の結果に基づいた改善・改革を進める取組み

(4) 地域創生総合戦略の重点施策に関する取組方針

- ・上尾市地域創生総合戦略に掲げた重点施策を、適切かつ速やかに実施する取組み

(5) 公共施設の質・量の最適化に向けた取組方針

- ・公共施設マネジメントを強力に推進し、質と量の最適化を図ることで、経費の平準化・削減を図る取組み

2. 財政規律ガイドラインを遵守した予算編成の徹底【P5】

(1) 財政運営に係る最上位のルール「上尾市財政規律ガイドライン」

- ・予算編成に当たっては、すべての職員が本ガイドラインに沿って中長期的かつ経営的視点に立ち、創意工夫とコスト意識の発揮により、叡智を結集して取り組むこと

(2) 予算編成のルール

①歳入の確保

- ・さらなる自主財源の確保や受益者負担の適正化の取組みを行うなど、「上尾市財政規律ガイドライン」に掲げる『予算編成のルール』を遵守すること

②歳出構造の改革

- ・所期の目的を達成した事業の再構築及び財源確保の見通しを持った要求の徹底など、「上尾市財政規律ガイドライン」に掲げる『予算編成のルール』を遵守すること

(3) その他留意事項

- ・国や県などの動向の迅速かつ積極的な把握と補助金の適切な活用